



2023年 環境経営レポート

2023年5月1日～2024年4月30日



2024年6月1日 発行

北村自動車株式会社

目次

1	▶ 事業活動の概要	1
2	▶ 実施体制	2
3	▶ 環境経営方針	3
4	▶ 環境目標と実績、評価	4
5	▶ 環境活動計画と取組み	5
(1)	▶ エコカー販売	6
(2)	▶ 車検点検入庫	7
(3)	▶ 産業廃棄物の削減	8
(4)	▶ ガソリン軽油使用量	9
(5)	▶ 水使用量	10
(6)	▶ 電気使用量	11
6	▶ 次年度の目標と取組み	12
7	▶ 環境関連法令の遵守と評価	14
8	▶ 代表者による全体の評価と見直し ...	15

1 事業活動の概要

1. 事業者名および代表者

北村自動車株式会社

代表取締役 北村太郎

2. 所在地

〒721-0952

広島県福山市曙町四丁目8番28号



3. 事業内容

- ・新車販売
- ・中古自動車販売
- ・自動車整備
- ・保険代理店業務
- ・レンタカー業務



4. 事業規模

- | | | | |
|-----------|---|-------|-----|
| ・従業員数 | … | 24 | 人 |
| ・年間売上高 | … | 999 | 百万円 |
| ・年間販売台数 | … | 287 | 台 |
| ・年間整備在庫台数 | … | 6,931 | 台 |

5. 対象範囲

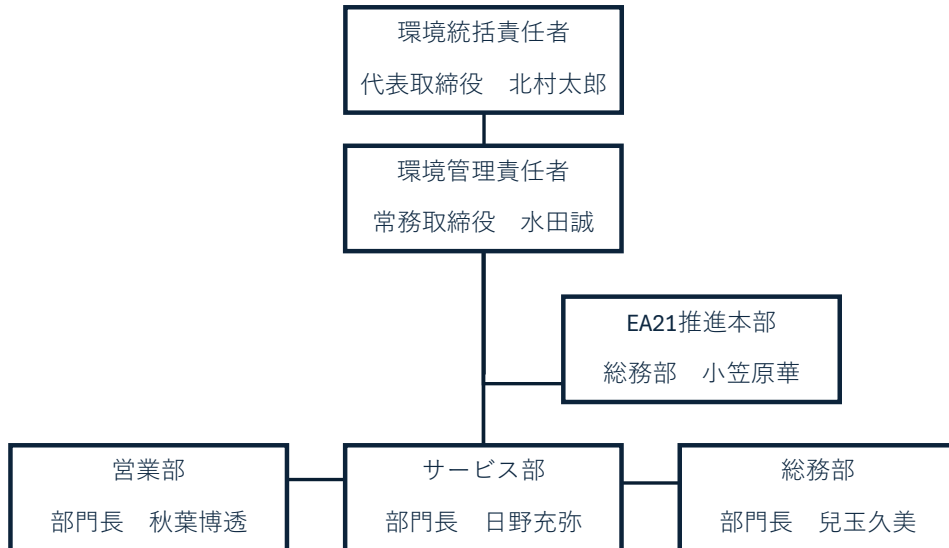
- | | | |
|---------|---|--|
| ・対象組織 | … | 本社（マツダオートザム福山南）、駐車場 |
| ・対象活動範囲 | … | 新車販売、中古自動車販売、部品・用品の販売
自動車整備、保険代理店業務、レンタカー業務 |

6. 環境管理責任者及び担当者

- | | | | |
|----------|---|-------|-------|
| ・環境管理責任者 | … | 常務取締役 | 水田 誠 |
| ・担当者 | … | 受付課 | 小笠原 華 |

2 実施体制

〈 環境管理体制 〉



〈 役割 〉

職名	役割
環境統括責任者	環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者 ・ EMSの実施及び運用に必要な人、設備、費用、時間を用意 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標の設定を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営レポートの承認 ・ 経営における課題とチャンスの明確
環境管理責任者	実務上の責任者として、全社の環境取組みを推進する ・ EMSの構築、実施、管理 ・ 環境活動計画書、環境関連法規とりまとめリスト等の承認 ・ 環境活動の取組み結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
EA21推進本部	環境管理責任者をサポートし、EA21推進本部として全社の環境取組みを推進する ・ 環境取組みの指導、支援 ・ 環境経営レポートの集計、とりまとめ
部門長 (3S委員会)	会社の環境取組みを推進する ・ 担当部門の環境取組みの責任者
全社員	・ 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性の自覚 ・ 自主的、積極的に環境活動へ参加する

3 環境経営方針

〈 環境経営理念 〉

当社は自動車販売、自動車整備、保険代理店事業を通じ、より良い地球環境の創造に貢献します。具体的には、自動車の燃費向上によるCO2の削減、資源の有効活用化に重点を置いて活動していきます。

この活動を効率的に行うために、環境経営システムを構築、運用し、以下の環境経営方針をもって環境経営の継続的改善を誓約します。

〈 環境経営方針 〉

- ①自動車の燃費向上によるCO2の削減
 - 1) 燃料消費効率の良い車種の販売
 - 2) 自動車環境性能、及び安全性維持のための定期点検の促進
- ②資源の有効活用化
 - 1) リサイクル部品の活用
 - 2) 廃棄物排出量の削減
 - 3) 燃料使用量の削減
 - 4) 水使用量の削減
 - 5) 電気使用量の削減
- ③環境関連法令や当社が約束したことを遵守します

この環境経営方針は一般に公開するとともに、すべての社員に周知徹底します

2023年 5月 1日 改定

北村自動車株式会社
代表取締役 北村太郎

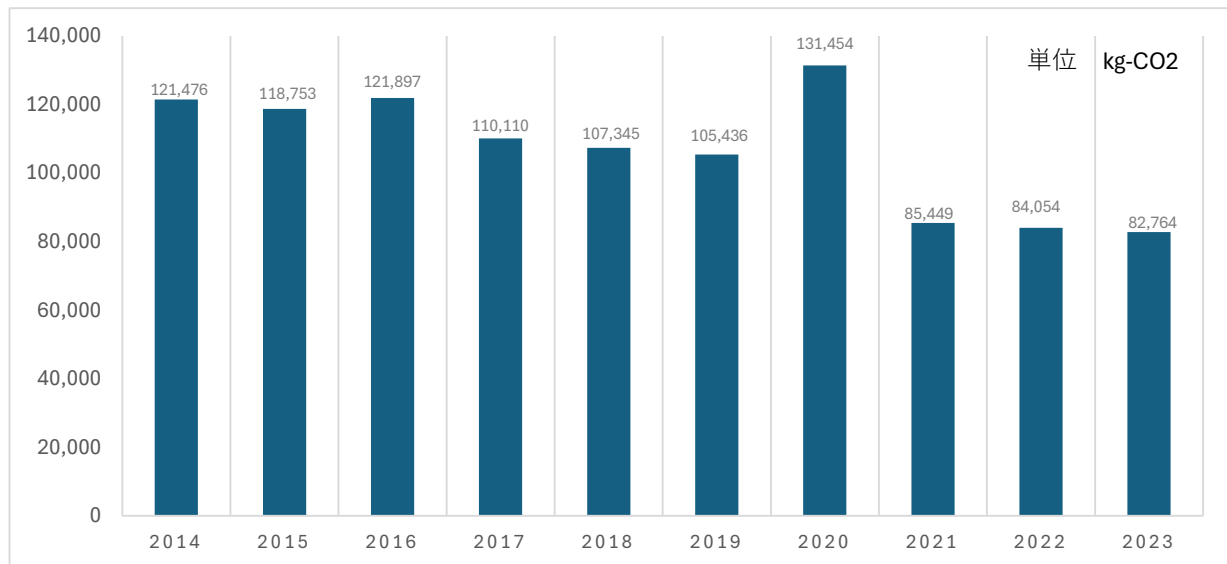


4 環境目標と実績・評価

環境目標	単位	基準値 (2022年度実績)	削減率	目標	実績	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	84,054	△1%	83,213	82,764	○
エコカー販売	台	193	+3%	199	226	○
車検入庫	台	863	+3%	889	884	○
点検入庫	台	685	+3%	706	674	×
産業廃棄物排出量	t	8.4	△0.5%	8.358	9.55	×
ガソリン使用量	L	13,719	△1%	13,582	13,562	○
軽油使用量	L	5,028	△1%	4,978	5,031	×
水使用量	m ³	543	△0.5%	540	600	×
電気使用量	kWh	87,075	△1%	86,204	80,516	○

※CO2排出係数はエネオス㈱の令和5年度電力調整後排出係数0.441を使用する

〈 過去10年間のCO2排出量 〉



5 環境活動計画と取組み

目標	目標達成手段
産業廃棄物の削減	①ゴミの分別 ②段ボール再使用 ③リサイクルパーツの使用 ④Web約款の推奨
エコカー販売	①ｽｻｲｸﾘﾝｸﾞ 搭載車やエコ-軽自動車の販売に努める ②エコカーの見積もりを推進 ③エコカーの試乗をすすめる
電力使用量の削減	①帰る前にパソコンの電源を切る ②事務所のエアコン温度設定を冷房28度、暖房20度にする ③西日対策としてブラインドを下げる ④節電スローガンを決めて掲示する
ガソリン使用量の削減	①代車の満タン貸出、満タン返しの施行 ②代車のガソリン量の計測 ③販売車両の満タン納車見直し
軽油使用量の削減	①代車の満タン貸出、満タン返しの施行 ②代車のガソリン量の計測 ③販売車両の満タン納車見直し
水使用量の削減	①水道メーターの確認・記録（漏水チェック） ②節水スローガンを決めて掲示する
車検入庫	①車検入庫推進 ②オイル交換時の空気圧チェック100% ③エコバッテリーの推奨
点検入庫	①点検入庫促進

5-(1) エコカー販売

エコカーを1台でも多く販売し、街を走るクリーンな車を増やすことが自動車販売店にできる環境活動の1つだと考えます。

今年度より、この活動におけるエコカーの基準として、平成30年排出ガス基準を50%軽減レベル以上と設定しました。また、クリーンディーゼル車は高い環境性能を持つ車なので、エコカーの基準内としました。

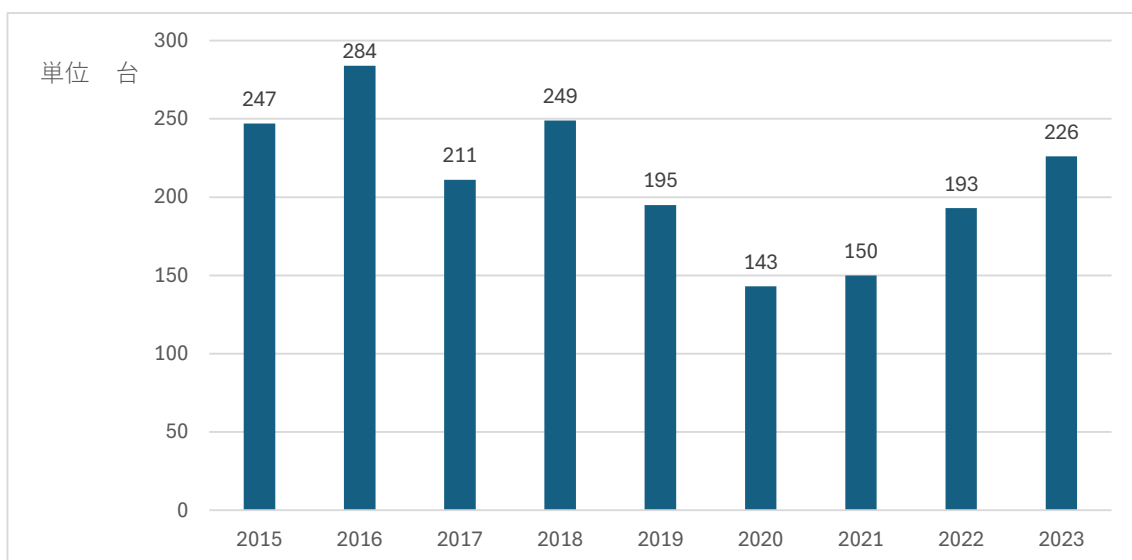
〈 環境経営活動計画評価 〉

目標達成手段	達成状況・評価	取組評価
スカイアクティブ搭載車やエコカー軽自動車の販売	今年は販売台数が多かったこともあり、大きく目標を達成することができた。	○
エコカーの見積もり 30件/月	販売台数が伸び悩んだ月は見積もりの件数も少なくなってしまう。引き続き取り組んでいきたい。	△
エコカーの試乗を 勧める	どうしてもお客様にご希望車種の試乗になってしまうので、数を追えないところではある。次年度から目標の変更を行いたい。	○

〈 環境経営目標評価 〉

目標	実績	評価
199台	226台	○

〈過去9年間のエコカー販売台数の推移〉



※2014年はデータ未取得

5-(2) 車検点検入庫

車検、点検を定期的に行うことによって、自動車の環境性能や安全性の維持に繋がります。入庫促進を行い、1台でも多くの自動車を整備することが自動車整備工場ができる環境活動だと考えています。

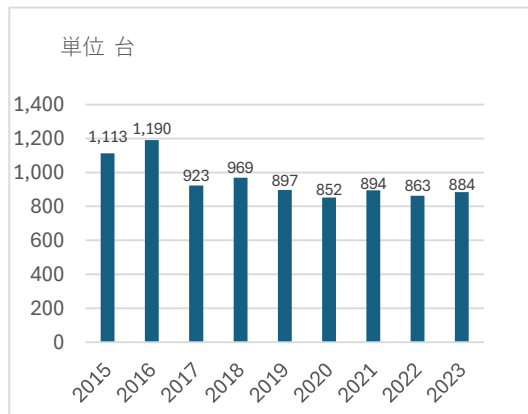
〈 環境経営活動計画評価 〉

目標達成手段	達成状況・評価	取組評価
車検入庫促進	入庫台数はわずかに目標到達できなかったが、やり方は変えずアプローチを続けていき、来年度は目標達成したい。	○
オイル交換時の空気圧チェック100%	100%チェックを行っている。今後も継続して点検を行い、車の安全性能維持に努めたい。	○
エコバッテリー推奨 20個/月	バッテリーの年数が経過している場合は早めに見積もりを提示するなど、しっかり行動できていた。今後も継続していきたい。	○
点検入庫促進	未達。バックdeメンテを拡販することによって入庫目標に近づけるので来期から目標を加えて活動していく。	×

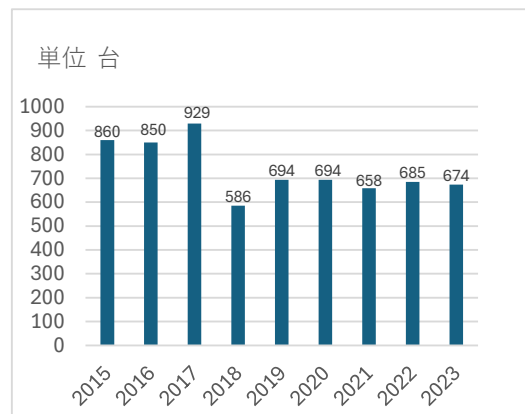
〈 環境経営目標評価 〉

	目標	⇒	実績	評価
車検入庫	889台		884台	×
点検入庫	706台		674台	×

〈 過去9年間の車検入庫台数の推移 〉



〈 過去9年間の点検入庫台数の推移 〉



※車検入庫、点検入庫ともに2014年はデータ未取得

5-(3) 産業廃棄物の削減

当社での産業廃棄物は、廃プラスチック、金属くず、汚泥の合計排出量です。一般ごみは、毎月1tまでのごみを回収してもらう契約のため、排出量の正確な計測が困難です。よって、一般ごみの排出量削減を意識づける行動目標を設定することにしました。

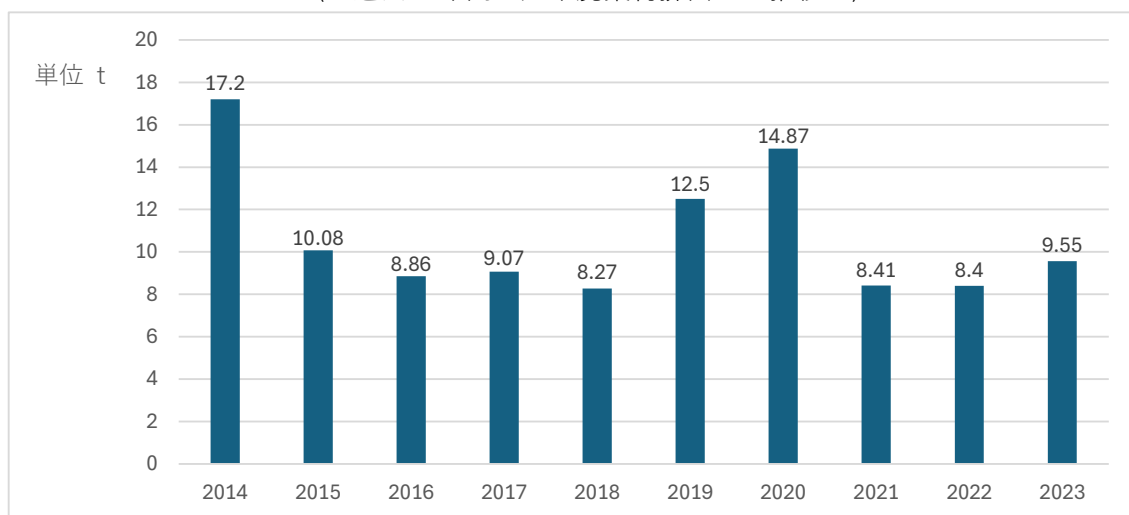
〈 環境経営活動計画評価 〉

目標達成手段	達成状況・評価	取組評価
ゴミの分別	以前から分別は定着しているので継続していきたい。	○
段ボール再使用	こちらも取組んでいる。変わらず継続していきたい。	○
リサイクルパーツの使用	リサイクルパーツが使用可能な整備作業ではお客様に提案しているが、より積極的に提案していく。	△
Web約款の推奨	どれだけ推奨できているか分からないところがあったので、今後はWeb約款率を目標値に設定することにした。	○

〈 環境経営目標評価 〉

目標	⇒	実績	評価
8.36 t		9.55 t	×

〈 過去10年間の産業廃棄物排出量の推移 〉



5-(4) ガソリン軽油使用量

ガソリン、軽油の使用用途は主にお客様へ貸し出す代車への補充です。お客様へ満タンでお貸しすることによって、満タンでの返却をお願いしやすくし、結果的に使用量を削減できるように行動目標を設定しました。

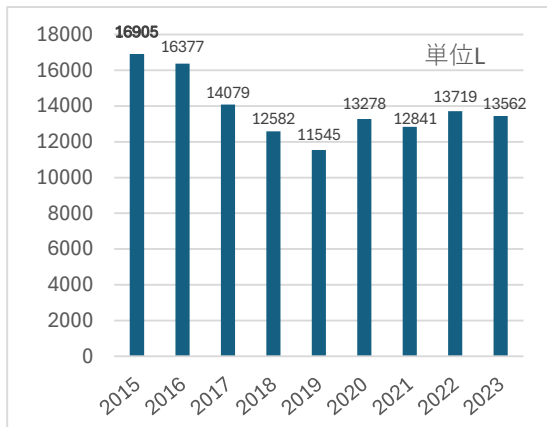
〈 環境経営活動計画評価 〉

目標達成手段	達成状況・評価	取組評価
代車の満タン貸出、満タン返しの励行	代車の準備をする社員だけでなく、社員全員で意識することによって目標を達成することができた。	○
代車のガソリン量、軽油量の計測	計測を行うことで必要量の把握ができたので良かった。	○
販売車両の満タン納車の業務見直し	見直しを行うことで、使用量の削減ができた。さらに満タン納車を減らせるようにしていきたい。	○

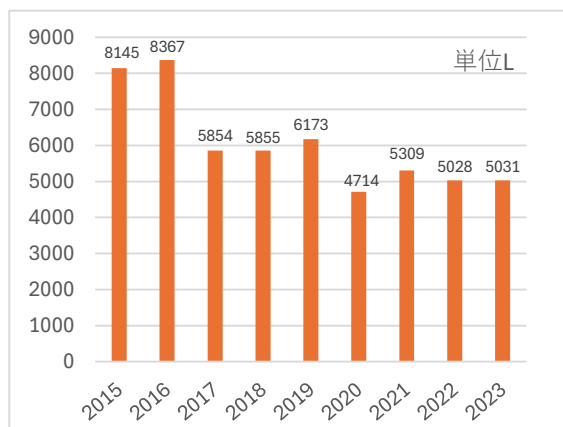
〈 環境経営目標評価 〉

ガソリン量	目標 13,582L	⇒	実績 13,562L	評価 ○
軽油量	目標 4,978L	⇒	実績 5,031L	評価 ×

〈 過去9年間のガソリン量の推移 〉



〈 過去9年間の軽油量の推移 〉



※ガソリン量、軽油量ともに2014年はデータ未取得

5-(5) 水使用量

洗車がある為、使用量を大幅に削減することは難しいので、日々の業務内での小さなところから節水できるように節水スローガンを掲示し、社内での節水の意識づけを徹底しました。

また今年度より、原単位（総水使用量÷総入庫台数）を算出しました。これにより使用量の比較がより分かりやすくなりました。来年度より、原単位での目標も設定していきます。

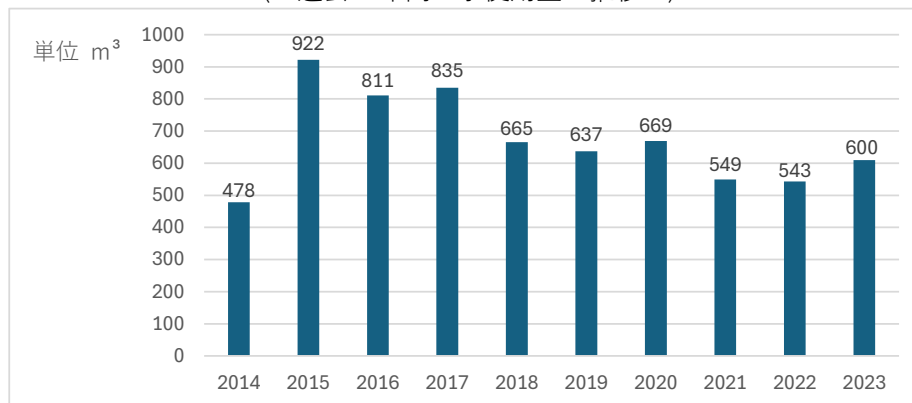
〈 環境経営活動計画評価 〉

目標達成手段	達成状況・評価	取組評価
水道メーターの確認記録（漏水チェック）	毎日のメーターチェックを行っている。漏水確認の為に今後も継続していく。	○
節水スローガンを決めて掲示する	毎月掲示して意識づけしている。目に見えるところへ掲示を続けていきたい。	○

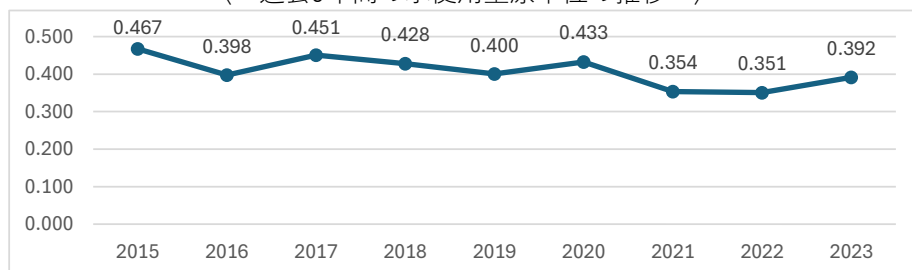
〈 環境経営目標評価 〉

目標	実績	評価
540m ³	600m ³	×

〈 過去10年間の水使用量の推移 〉



〈 過去9年間の水使用量原単位の推移 〉



※2014年は入庫台数未取得の為、原単位算出なし

5-(6) 電気使用量

電気使用量も日常のこまめな節電が大切だと考えます。よって、節電スローガンを毎月掲げ、社員の意識づけを行っていきましました。

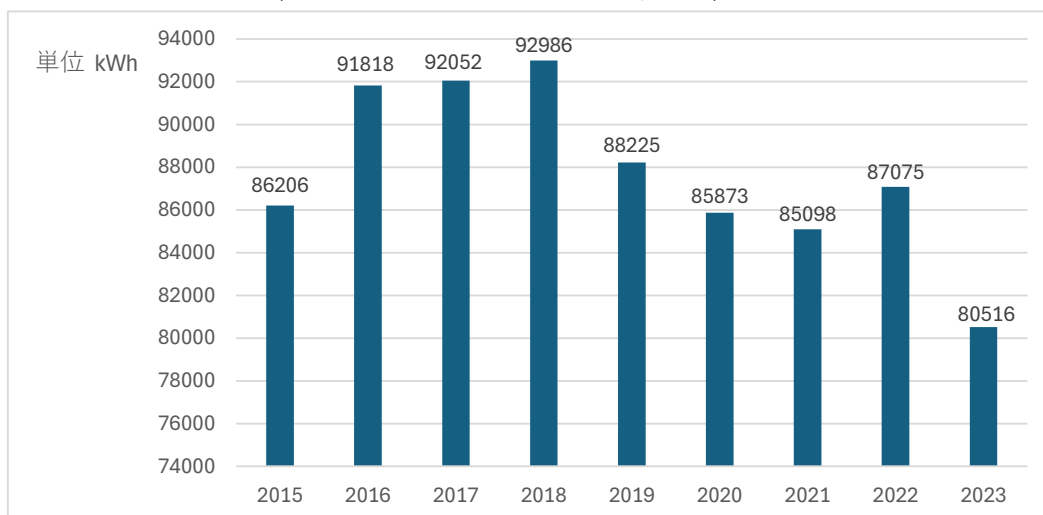
〈 環境経営活動計画評価 〉

目標達成手段	達成状況・評価	取組評価
帰る前にパソコンの電源を切る	毎日確実に行えている。定期的に社内へ展開して今後も忘れないように活動していきたい。	○
エアコン温度設定を冷房28℃暖房20℃にする	暑くてどうしても冷房の設定温度は28℃が難しいところがあった。目標を変更して別角度から節電を心掛けたい。	×
西日対策としてブラインドを下げる	毎日行っている。かなり効果が見えるので、今後も継続していく。	○
節電スローガンを決めて掲示する	毎月掲示できている。部屋の電気の消し忘れが減ったように感じるので今後も続けていきたい。	○

〈 環境経営目標評価 〉

目標	実績	評価
86,204kWh	80,516kWh	○

〈 過去9年間の電気使用量の推移 〉



※2014年はデータ未取得

6 次年度の目標と取組み

〈 次年度、中長期環境経営目標 〉

環境経営目標	単位	基準値※ (2022年度実績)	次年度目標 2024年	中長期目標		
				2025年	2026年	2027年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	84,054	82,373	81,532	80,692	79,851
			△2%	△3%	△4%	△5%
エコカー販売	台	176	185	188	192	195
			+5%	+7%	+9%	+11%
車検入庫	台	861	904	921	938	956
			+5%	+7%	+9%	+11%
点検入庫	台	697	732	746	760	774
			+5%	+7%	+9%	+11%
産業廃棄物排出量	t	8.4	8.32	8.27	8.23	8.27
			△1%	△1.5%	△2%	△2.5%
ガソリン使用量	L	13,808	13,532	13,394	13,255.68	13,118
			△2%	△3%	△4%	△5%
軽油使用量	L	4,987	4,887	4,837	4,788	4,738
			△2%	△3%	△4%	△5%
水使用量	m ³	538	533	530	527	525
			△1%	△1.5%	△2%	△2.5%
電気使用量	kWh	86,692	84,958	84,091	83,224	82,357
			△2%	△3%	△4%	△5%

※2024年度より、決算月の変更（4月→3月）を行ったため、基準年の数値を変更。

6 次年度の目標と取組み

〈 次年度環境活動計画 〉

目標	目標達成手段
産業廃棄物の削減	①ゴミの分別 ②段ボール再使用 ③リサイクルパーツの使用 ④保険Web約款、Web証券の推奨 ⑤できる書類は両面コピーする
エコカー販売	①ｽｵｲﾌﾞ 搭載車やエコ-軽自動車の販売に努める ②エコカーの見積もりを推進 ③エコカーの試乗をすすめる ④中古車ご希望のお客様にもエコな新車を勧める
電力使用量の削減	①帰る前にパソコンの電源を切る ②事務所のエアコン温度設定を冷房28度、暖房20度にする ③西日対策としてブラインドを下げる ④節電スローガンを決めて掲示する
ガソリン使用量の削減	①代車の満タン貸出、満タン返しの施行 ②代車のガソリン量の計測 ③引取納車、営業活動中エコな運転を心掛ける
軽油使用量の削減	①代車の満タン貸出、満タン返しの施行 ②代車のガソリン量の計測 ③引取納車、営業活動中エコな運転を心掛ける
水使用量の削減	①水道メーターの確認・記録（漏水チェック） ②節水スローガンを決めて掲示する
車検入庫	①車検入庫推進 ②オイル交換時の空気圧チェック100% ③エコバッテリーの推奨 ④早期アプローチをかけて車検切れが起こらないようにする
点検入庫	①点検入庫促進 ②パックdeメンテの拡販

7 環境関連法令の遵守と評価

法規制等の名称	該当する要求事項	評価
廃棄物処理法	・一般廃棄物処理業許可業者へ委託 ・産業廃棄物処理許可業者へ委託 ・産業廃棄物管理票（マニフェスト）交付	○
自動車リサイクル法	・エアコンが搭載されている場合はフロン類回収業者に、搭載されていない場合は解体業者に引き渡さなければならない ・新車購入時にリサイクル費用を支払う	○
消防法	・危険物保管の指定数量以上の許可	○
PRTR法	・化学物質の把握と管理 ・性状及び取扱に関する情報（SDS）の受取、発行（第2種指定化学物質）	○
騒音規制法	・空気圧縮機の定格出力7.5kw以下	○
振動規制法	・空気圧縮機の定格出力7.5kw以下	○
フロン排出抑制法	・簡易点検の実施、記録の保存 ・廃棄時の適正処理	○
プラスチック資源循環促進法	・プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制、再資源化	○

8 代表者による全体の評価と見直し

今年のエコアクション21の活動結果の評価としては、前年より少し進展した成果が見られるようになり、環境目標9項目のうち、5項目において目標を達成することができました。

一番はエコカー販売についてです。今年度は、新車販売台数目標達成に向けて社員一丸となって販促活動を行い、その結果マツダの「経営優秀賞」の獲得、マツダエクセレントショップ認定という素晴らしい成績を収めることができました。マツダ株式会社より経営成果において高い評価をいただき、社員のモチベーションアップにも繋がりました。環境経営理念、方針に沿った活動の成果が実ったことを高く評価できます。

また、環境関連法令の遵守に努めました。法規に関する知識を日々アップデートし、漏れのないよう細心の注意を払いました。

今年度の大きな変化として、環境経営方針の変更を行いました。自動車販売店としてエコカーの販売、整備の促進を行うことを第一に考えた経営理念として活動し、その結果前述したとおり高い営業成績を収めることができました。環境経営理念の見直しを行うことにより、社内への意識づけが徹底できたことが目標達成に繋がったと感じています。

来年度は、社内設備を一新し業務の効率化を図りたいと考えております。一例として、業務資料のデータ化を促進したり、自動洗車機の導入を行います。これにより、ペーパーレス化による紙の使用量の削減や、水道使用量の削減も見込めます。また、業務の効率化によって作業効率も上がり、さらなる新車の販売や整備入庫の促進に繋がることも期待しています。

来年度も組織体制の変更は行わず、関連法令の遵守に努めながら環境活動を進めてまいります。

2024年5月20日

北村自動車株式会社

代表取締役 北村太郎